



# 新型コロナウイルスの ワクチンについて

## IBDの人もワクチンう ってもいいの？

### ① ワクチンとはどのようなものですか？

→ 感染症にかかると、病原体（ウイルスなど）に対する「免疫」（抵抗力）ができて、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても軽くすんだりするようになります。新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社、モデルナ社）は、コロナウイルスの一部の情報（mRNA）を使用してコロナウイルスの情報を記憶させ（生ワクチンではないのでコロナウイルスそのものに感染するわけではありません）、抵抗力を獲得します。

### ② ワクチンは有効ですか？

→ 90%以上の発症予防効果（ワクチンを打った人が打たない場合に比べて新型コロナウイルスによる症状を発症する確率が10分の1以下になること）とともに重症化も防ぐことができると報告されています。

### ③ ワクチンは安全ですか？

→ 新型コロナワクチンもインフルエンザのワクチンなどと比較しても同様に安全とされています。注射した場所が腫れて痛んだり、微熱や頭痛が出たりという一時的な症状（副反応）が1～3日ほど出ることがあるようです。アナフィラキシーは100万人当たり2.5-11.1人（インフルエンザワクチンは1.3人）と少ないですが、念のため接種後短時間は医療従事者による経過観察を受けてください。長期の安全性についてはまだ明確なデータはありませんが、理論的には安全だろうと考えられます。

### ④ 炎症性腸疾患 (IBD) があってもワクチン接種は可能ですか？ 免疫抑制剤を使用しても打ってもいいですか？

→ 接種可能です。ステロイド、アザチオプリン、抗TNF $\alpha$ 抗体など（詳細は主治医にご確認ください）免疫の機能を低下させる治療を行なっている場合でも、生ワクチンではないため安全に接種が可能ですが、治療の影響で免疫の獲得が弱く、有効性が低くなる可能性が報告されています。一方でこのような方は万が一感染した場合の重症化リスクが高いこともありますので、接種するメリットも大きいでしょう。

### ⑤ IBDの人は優先的に接種を受けられますか？

IBDを持っている方全員が優先接種の対象にはなりません。免疫抑制療法を行なっている方は対象になります。詳しくは自治体にお問い合わせください。

今後もさらにワクチンに関する有効性や安全性について新たな情報が出てくるので、随時主治医とご相談ください。